

## 研究・調査報告書

報告書番号	担当
553	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Effects of a Fermented Barley Extract on Subjects with Slightly High Serum Uric Acid or Mild Hyperuricemia やや高い血清尿酸や軽い高尿酸血症の被験者における発酵オオムギ抽出物の影響	
執筆者	
HOKAZONO Hideki, OMORI Toshiro, HOKAZONO Hideki, ONO Kazuhisa, YAMAMOTO Tetsuro, AKAOKA Ieo	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
<i>Biosci Biotechnol Biochem</i> , Vol.74 No.4 Page.828-834 (2010)	
キーワード	
オオムギ焼酎、発酵オオムギ抽出物、血清尿酸値、高尿酸血症	
要旨	
<p>オオムギ焼酎蒸留工場の副産物から調製した発酵オオムギ抽出物 P(FBEP)の尿酸低下効果と安全性を無作為、プラセボ対照、並行群間、二重盲検法で調べた。血清尿酸値が6.0-7.9mg/dl の計 111 名の被験者に 2g/d の FBEP を含む飲料(試験グループ)又はプラセボ飲料を提供した。12 週間後、血清尿酸値が試験グループで<math>-0.21 \pm 0.56</math>mg/dl 変化し、プラセボグループ(<math>+0.02 \pm 0.54</math>mg/dl)と比較して著しい減少を示した。さらに、試験グループでの尿酸クリアランスは 12 週後にプラセボグループより上昇する傾向を示した(<math>p=0.054</math>)。体力テストや臨床試験で異常は認められず、試験食摂取による不都合な診断所見もなかった。これらの結果はやや高い血清尿酸や軽い高尿酸血症の被験者への FBEP 処理の利点と安全性を示唆している。</p>	